



ふれあいの橋の会

REPORT さかい



訪問日 2025年7月17日(木) 10:00 ~ 11:40
訪問先 介護老人福祉施設 新さかい幸朋苑(特養・ショートスティ)
デイサービスセンター 新さかい幸朋苑 境港市上道町 2053-1
出席者 【委員】 川口 昭一、遠藤 博江、遠藤 恵子

【さかいエリア】 藤本 健(介護老人福祉施設新さかい幸朋苑

兼 介護老人福祉施設みなと幸朋苑 施設長)

矢新道子(介護老人福祉施設新さかい幸朋苑 介護課長)

後藤裕輔(介護老人福祉施設新さかい幸朋苑 相談員・係長)

杉山千樹(介護老人福祉施設新さかい幸朋苑・みなと幸朋苑 相談員・主任)

佐野修司(介護老人福祉施設新さかい幸朋苑 介護福祉士・主任)

藤澤哲哉(介護老人福祉施設新さかい幸朋苑 介護福祉士・主任)

松本健太郎(デイサービスセンター新さかい幸朋苑 管理者・主任)

【法人本部】 荒井祐二(監事)



今回の「ふれあいの橋の会」は、境水道大橋や水木しげるロードが近い新さかい幸朋苑を訪問しました。2006年6月、特別養護老人ホーム新さかい幸朋苑を事業開始して以来、地元自治会との連携・交流は年々深まり、現在は避難訓練や納涼祭など、様々な行事を共同開催しています。本格的な夏本番を迎え、境港は7月27日、「第80回みなと祭」が開催され、最高潮の賑わいとなります。





荒井監事：本日は、新さかい幸朋苑の**特養、ショートステイ、デイサービスセンター**を見学していただきます。来年には開設20周年を迎えますが、地元自治会と活発に交流を続けています。新さかいエリアの近況を報告してください。

藤本施設長：猛暑が続くとともに、線状降水帯が発生し、豪雨による被害も出ているようです。まだまだ暑い日が続きますが、くれぐれも体調管理に留意されるようお願いします。新さかい幸朋苑では、6月1日に地元自治会との合同で「防災避難訓練」を実施しました。火災と津波を想定し、炊き出しでカレーライスを作りましたが、70名が参加されました。8月16日には、地元自治会と合同で「納涼祭」を開催します。昨年は、500名を超える参加があり、年々盛り上がっていることを実感しています。

矢新課長：コロナ禍でボランティアの受け入れを控えていましたが、本年3月からアロマセラピストの方に月2回ボランティアで訪問していただいています。会話をしながらアロマによるマッサージをしていただくもので、ご利用者の皆さんに喜ばれています。法人の初任者研修を受けられた方で、継続していただくようお願いしています。こうした地域の皆様のご厚意に感謝しています。



後藤主任相談員：新さかい幸朋苑の2、3階は特養で、定員は64名全室個室です。平均年齢は89.1歳、平均介護度は4.3です。昨年1年間の退居者は35名で、一昨年は18名でした。退居者のほとんどが看取り対象です。特養の入居は、国や法人の指針に基づき、介護度や家族状況で点数を表し、優先入居判定会で決まります。併設のショートステイは、定員16名ですが、平均介護度は2.3ぐらいで、他のエリアに比べ軽度者が利用されています。出入りが多く、毎日4、5名を送迎しています。デイサービスを利用されている方が、ショートステイを利用される場合もあります。

杉山主任相談員：みなと特養の相談員も兼務しています。境港市内では、ショートステイを運営している事業所は、**新さかい幸朋苑**だけです。さかい老健でも短期入居を受けていますが、空床利用型です。猛暑が続いていますが、同居の家族が急に入院された場合など、緊急時に利用されることが多いです。

佐野介護主任：特養64名の生活全般の介護支援を実施しています。8月16日には納涼祭を開催します。七夕まつりなど**季節を感じていただく**ための小さなイベントも開催しています。美保関町にあるアジサイロードに出かけましたが、ご家族も参加されました。Instagramを開設し、行事の模様を地域やご家族に発信しています。

藤澤介護主任：本年6月から2階の特養を担当しています。介護職員も潤沢の人数ではありませんが、頑張っています。人員不足を解消するため、**ICTを導入**しています。インカムで職員間の連絡、スマホで情報伝達や整理を行い効率化を図っています。また、入居者のベッドの下に眠りスキャンを置き、呼吸数や脈拍数も分かるようにしています。ICTやロボット機器を随所に配置していますので、見学の際に説明します。

川口委員：先日のテレビ番組では「**デジタル化もいいが、アナログも必要だ**」と言っていました。停電になったら使用できなくなる、災害時には適応できないとのことでした。

藤本施設長：その通りです。すべてをICTに依存するのは不安があります。機能に不具合が出た場合、どのくらいで復帰するのも確認しておかないといけないと考えています。

遠藤博江委員：高度の機能を持つ機器で効率化を図ることはいいですが、最後は「**人間力**」ですね。

遠藤恵子委員：介護施設で人員不足が問題になっていますが、以前は職員がもっと配置されていたように思います。これからの時代は、コンピューターの利用が増えるでしょうね。



▲階段を利用して屋上まで避難



松本管理者：1階の**デイサービスセンター**は、登録者72名、平均介護度は2.0です。楽しく一日を過ごしていただくため、**メニューを工夫**しています。入浴、食事、レクリエーションなどを用意していますが、入浴サービスは人気があります。レクリエーションは選択制にしており、リハビリを中心とする運動型、認知機能が落ちないように脳トレ、計算、ゲーム、ぬり絵などをするコースを選んでいただいています。eスポーツについては、境港総合技術高校の生徒に月1回訪問していただき、実施しています。その他にゴムやタオルを使って足の指の力を強化する運動なども実施しています。3年ぐらい実施してきましたので、成果を法人研究発表会で報告したいと考えています。



《見学後》

遠藤恵子委員：6月に実施された避難訓練に参加しました。合同開催は自治会員として感謝しています。

遠藤博江委員：災害時用の食料備蓄はどうされていますか。

藤本施設長：ローリング方式で入れ替えをしながら補充しています。例えば、飲料水の場合は、皿洗いや庭木の水やりなどに使用し、無駄をなくしています。

遠藤博江委員：上道公民館で防災教室を企画しています。こうほうえんは、地域との繋がりを大事にされていますので、ご協力をお願いします。

藤本施設長：上道8区自治会には、100人分の米飯が炊ける炊飯器があります。自動販売機も災害時に市や県から依頼があれば400本利用できます。地域の皆さんと共に、助け合いたいと考えています。

遠藤博江委員：職員の人員が減少する中、行事を継続するのは大変でしょう。

矢新課長：地域の皆さんの協力があるから実施できています。

藤本施設長：現在、フィリピンからの特定技能実習生を2名採用していますが、10月には4名追加配置することになっています。

矢新課長：今後も採用枠を広げることになりますが、**宿舍の確保が課題**となります。

遠藤博江委員：苑内を見学しましたが、各階の**掲示板**もきちんと整理されていました。

遠藤恵子委員：デイサービスも特養も女性の利用が多いですね。皆さんが「私はここにいていいんだ」という表情で、**明るくゆったり**としておられました。環境がいいのでしょうか。

川口委員：施設全体がゆったりとしており、**安心感につながっている**のでしょうか。今年採用となった職員に出会いましたが、**いきいきとした眼差し**で意欲を感じました。職員とご利用者の関係性が良い雰囲気を作っていると思いました。

藤本施設長：コロナ禍でマスク着用でしたが、職員の顔をようやくしっかり見ることができます。ご利用者との関係もマスクなしで接することで随分と変わってきました。

次回は、**8月21日(木) 10:00～ グループホームあがりみち、デイハウスあがりみち**です。



みなと祭・海上パレード